

「勝ち抜け！ちばの米」セミナーを開催しました

平成22年度の米政策については、政権交代により、食料自給力の向上を目指す、戸別所得補償制度に大きくカジを切ったところであり、多くの生産者が強い関心を持っているところである。

このような中、22年産に向けて、新たな政策に対応した水田農業の生産・販売戦略が極めて重要となっています。

そこで、生産者自らが、22年度の米政策を学ぶとともに、本県が重点作物として進める、飼料用米・米粉用米等への取り組みを推進する「勝ち抜け！ちばの米」セミナーを開催しました。

- 1 日 時：平成22年2月4日（木） 13時00分から
- 2 場 所：京葉銀行文化プラザ 6階 けやき
- 3 参加者：農業者、米の生産・流通・販売団体、地域水田農業推進協議会構成員など 計255名

4 内 容

【情報提供】

戸別所得補償制度のモデル対策について

農林水産省大臣官房政策課戸別所得補償制度推進チーム 山口参事官

飼料用米の低コスト・多収性栽培のポイントについて

千葉県農林総合研究センター生産技術部水田作研究室 大内上席研究員

鶏卵事業「こめたまご」の今後の展開について

昭和産業(株)飼料畜産部レイヤーチーム 多田井さん

【先進地事例】

「農業・農村の再生と食料自給力向上に向けて」

～お米の麺による農業の6次産業化の取組み～

(株)大潟村あきたこまち生産者協会 涌井代表取締役社長

なお、飼料用米を給餌した「こめたまご」、「豚肉」やコメ麺等の試食・展示を行いました

5 開催状況



(講演風景)



(コメ麺の試食)